

議 平生町
議会だより

第 124 号
2012 年 7 月 27 日

発行：平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町210-1
TEL0820-56-7110 FAX0820-56-7109
発行責任者：福田 洋明
編集：議会広報広聴調査特別委員会



地引網体験（尾国 7月15日、町子連50周年記念行事）

6 月
議会報告
いっぱん質問

定例会・常任委員会審査報告 … 2ページ
いっぱん質問 ……………… 3ページ
議会の動き等 ……………… 10ページ

849万円追加補正



第2回6月定例会の様子

平成24年第2回平生町議会定例会が、6月14日から22日までの9日間の日程で開かれました。提案された議案は、補正予算1件、条例2件、事件1件、承認2件、報告2件、諮問1件で、計9件です。議案はすべて全会一致で可決、承認しました。一般質問では、7人の議員が町政の諸課題の取り組みについて質問しました。

補正予算は、一般会計に849万5千円を追加補正し、予算総額は48億8,389万5千円となります。

今回の補正の主なものは、土地改良事業費では、緊急ため池整備として、小和田の井内ため池の改良事業を実施するもので、全額県費の補助によるものです。

その他の補正は、地域活性化に伴うコミュニティ助成事業と、地域防災組織育成助成事業として避難誘導用のヘルメットや発電機などの防災対策関連の機材購入費を助成するものです。

一般会計

歳入補正

- ▽県支出金 504万7千円増
- ▽基金繰入金 4万8千円増
- ▽諸収入 340万円増

歳出補正

- ▽総務費 140万円増
- ▽民生費 9万5千円増
- ▽農林水産業費 500万円増
- ▽消防費 200万円増

常任委員会の審査報告

総務厚生 常任委員会

6月14日に本会議から付託を受けた所管事項について、6月20日に慎重に審査した結果、付託議案はすべて全会一致で承認しました。主な審査経過は次の通りです。

補正予算

【質】総務費の一般管理費のコミュニティ助成事業の展望と効果について。

【答】助成対象者は堅ヶ浜里山の会で、休耕田の整備をはじめ、ソバの栽培もしており地域再生、活性化に取り組みが、大いに期待される。

条例

【質】国別の外国人登録者数は。

【答】本年3月末現在で、韓国・朝鮮15名、フィリピン32名、ブラジル22名、その他を合わせて100名の登録者がある。

産業文教 常任委員会

6月14日に本会議から付託を受けた所管事項について、6月19日に慎重に審査した結果、付託議案はすべて全会一致で承認されました。主な審査経過は次の通りです。

【答】100%補助の県事業で、県から2月に実施要望の調査があり事業決定したことから、当初予算への計上が間に合わなかったため。

事件

【質】町道認定する面積、メリット、認定する理由は何か。また、認定基準を満たしているのか。

【答】面積は、1,440平米で、地権者の権利関係が整ったため認定をするもの。メリットは交付税対象となる。町道認定基準の取扱要項の要件を満たしている。

補正予算

【質】土地改良事業費を6月補正予算に計上する理由は何か。

【答】町道部分は町が管理する。



岩本ひろ子 議員

いっぱん質問

ここが聞きたい



質 新規事業の産業祭りについて

答 産業の活性化を図る



平生町総合文化展での特産品等の販売
(平成23年)

質 平成24年度の産業祭りについて、次の3点を問う。

①平成24年度の予算に新規事業として、93万5千円を組まれた町長のお考えを問う。

②産業祭りを行うに当たっての開催理念とテーマはどのようにお考えか。

③産業祭りの活性化という事を考えれば、この新規事業は、単発的なものなのか、継続的なものなのか。

答 町長

①民間主導で民間の知恵と力を発揮していただき、共通経費の部分は、町が補助する形を考えている。

②総合計画に基づいて産業の活性化を図るといふ基本理念のもとに、農商工連携をテーマとして町内各産業間の連携を図りながら、新しい活力を見い出す糸口になればと考えている。

③将来に向けて継続し、中身が充実していくように考えている。

質 文化財の保存の取り組みについて

答 保存管理が促進できるよう支援している

質 文化財というものは、長年の歴史の中で培われたものであり、先祖から我々が伝承し後世に引き継いでいかなければならない大切なものである。

そこで、平生町での文化財はどのような環境のもとで保存されているのか。

また文化財マップを新しく作成し、町民、本町を訪問する方に配布し活用できないものか。

答 教育長

文化財保護条例に基づき、平生町文化財審議会の審議を経て、文化財に指定している。町内には8つの県指定、6つの町指定の文化財がある。

町管理と所有者の管理下であり、保存管理が促進されるよう支援もしている。

マップを作ることは予算が関わってくる。できることをできるだけやっていきたい。



木造毘沙門天立像(平生町指定有形文化財)



渕上正博 議員

質 脱原発を目指す首長会議への参加は

答 国の動向を見極めたい



反原発デモの様子

質

福島原発事故から1年3カ月がたった。私たち国民は、この重大事故から放出された放射性物質、これを完全に抑える手段は存在しないという恐るべき事実を目の当りにしてきた。

こんな中、「脱原発を目指す」首長会議が結成された。

当町も、この会議に参加して「原発ゼロの日本」をつくるべきだと思うがどうか。

答 町長

山口県からは当会議への参加はなかったと聞いている。

全国、それぞれ自治体に置かれた地域の事情があると思う。

その事情を踏まえてそれぞれの首長が参加したと思う。

原発の事故を受けて、国の責任において、国のエネルギー政策の見直し作業が進められている。

これから新しい安全基準がどう設定されていくのかこの辺も含めて十分見極めたい。

質 柔道の必修化で安全体制は万全か

答 指導計画など授業に備えている

質

中学校では、2学期から武道が必修化される。

当町では柔道と剣道が必修化される。特に柔道は重大事故が相次いで発生している。

原因の一つに指導者の問題がある。

もう一点は、体罰やいじめ、しごきが痛ましい事故につながっている。

この武道の必修化に對して、当町の対応はどのようなになっているか。

答 教育長

今年度から中学校においては、新しい学習指導要領が全面実施になる。

担当教員それぞれ武道必修に参加し、管理職を対象にした研修会が開催され、安全体制の整備について徹底が図られた。

中学校における安全対策は必要であり、指導計画を立て、事故の未然防止、また、発生時の対応マニュアルもすでに策定し、今年12月からの授業に備えている。





村中仁司 議員

質 着手の見通しのある路線を明らかにすべきではないか

答 速やかに情報公開していく

質

都市計画道路について事業化の時点で初めて知ったという方もおられ、時として住民に反対され、工事がストップすることにもなる。広く町民、地元住民に対して情報開示をするべきではないか。

計画道路の予定地内の地権者の方々の私権を、長期にわたり制限することは問題があり、着手の見通しのある路線を明らかにすべきではないか。

答 町長

着工の見通しがつけば早く地域の方、住民や土地所有者の方に周知していく。

都市計画道路ということで決定された区域で建築制限もかかっており、生活設計等に影響がでるから、速やかに情報開示は出していく。

都市機能が拡大していくという前提で道路を計画しているが、経済情勢が変化をすればそれに応じて見直していく。



進まない計画道路

質 生活道路について将来どのように整備をするのか

答 狭い道路の拡幅改良が必要

質

町内における生活道路は軽自動車と自転車との離合もできない道路もあり、町内の生活道路の拡幅が必要である。

生活道路の中には、のり面が傾斜になっている道路があり、下から立ち上げることによって幅を広くすることができ、救急車、消防車などが現場まで入ることができ、町民を守る体制ができる。

これから将来どのような整備をするのか。

答 町長

町道全体で見ると、本町215路線、延長が約12万8千メートル、改良率は46%と決して満足できる状況ではない。4メートルを基本とし、拡幅改良を実施している。

のり面の部分だけを突き上げていくとなると、コスト面、効率性と優先順位が下がる。ある程度の用地を確保して、拡幅改良に向けての取り組みが基本と考える。



離合困難な町道



平岡正一 議員

質 暮らし慣れた家で安心できる高齢者福祉を

答 高齢者の家族支援に取り組んでいる

質 第5次の高齢者福祉計画が作られたが、平成32年から高齢者人口や介護サービスの利用者が減少するとなっている。今後3年間の計画を見ても、認知症対策や在宅介護の支援など不十分だ。自宅でも暮らせる支援の充実が求められる。介護保険の考えも再検討し、自宅で介護する家族への経済的支援も取り入れるべきだ。



認知症サポーター養成講座
(平生町高齢者地域包括支援センター)

答 町長 高齢者地域包括センターを、高齢者の中核的な存在として、機能させることが必要だ。平成24年から今後3年間、団塊の世代が65歳に到達するので、大変大事な時期だと、受けとめている。在宅介護の家族に対する支援は、これから大事なテーマであり、ショートステイの介護サービス等が、大変大事になると思う。

質 生徒優先で通学路の安全確保を

答 学校ごとに通学路を安全確認



交通量の多い通学路

質 平生中の通学路は統合当時に生徒を優先する形でつくられていたが、宅地化や車の増加で車が優先され、生徒を危ない路側帯に押し込んだ姿になって、多くの不安の声が出ている。生徒の安全を第一に考えるべきだ。朝の通学時間に学校前に交通指導員を配置することや、車の一方通行などの交通規制が必要と思うがどうか。

答 教育長 通学時間帯にパトロールカーの巡回のお願いをしている。注意喚起の看板を6カ所設置し、横断歩道の新設を検討中である。佐賀小は、家庭訪問の際に通学路の安全点検を教師が確認した。平生小は、地区担当教職員が通学路を子どもたちと歩いて確認した。中学校は、下校指導として教職員が巡回し通学路の安全確認をしている。



久保俊一 議員

質 平生町の水道事業 将来見えす！

答 受水費相当額は両町で補助する

質 柳井地域広域水道の受水費が本町の水道事業の経営を圧迫し、総合的な経営基盤の改善が必要と言われているが、考えを尋ねる。また、これらの解決の為、柳井地域広域水道との統合は考えられないか。

質

町の水道事業と田布施・平生水道企業団の統合により、水道事業の効率的な運営を目指すとしている。

【水道事業の負債・出資債残高】

(平成23年度末現在)

- 田布施・平生水道企業団事業債全体 35億4,784万円
- 柳井地域広域水道出資債(平生町負担分) 10億5,453万円
- 平生町簡易水道事業特別会計事業債 8,213万円

【平生町の水道事業への平成24年度補助金等】

- 田布施・平生水道企業団(負担金、補助金) 8,880万円
- 柳井地域広域水道企業団(補助金、出資金) 1,611万円
- 平生町簡易水道事業特別会計(繰出金) 4,453万円

※千円以下切り捨て

答

町長

簡易水道の統合は、補助制度が平成28年度廃止で、27年度まで統合する計画で進んでいる。

事業費約1億2,800万円が国庫補助で、効果として起債償還の負担金があるが、一般会計から繰出金は削減される。過剰な施設は廃止していくが、企業団経営が安定する間、受水費相当額を両町で補助していく。

水道事業の広域化等は、関係市町と検討し、最善の結論を得ることが重要。

質 平生町のインフラ整備 将来見えす！

答 知恵を出しながらやっている

【インフラ(社会基盤)】

交通・通信・電力・公共施設など、社会や産業の基盤として整備される施設。

【総務省実施の自治体アンケート調査結果より】

- 110自治体調査
老朽化実態把握せず → 80%
- 1,433自治体調査
公表する必要はない・考えない → 30%
- 『住民に知らせると誤解や動揺』 → 72自治体

質

公共施設『箱物等』老朽化の実態を把握しているなら計画及び対策を、把握していないなら今後どうするか。

「インフラ更新費用の半分は、箱物にかかる」と言われているが財政の厳しい平生町には、これらのインフラ整備の危機を乗り越える力はあるのか。

今後、曾根公民館のように箱物の整備は、リース方式になるのか。

答

町長

公共施設の老朽化は把握している。93施設の多くが昭和50〜60年代で、施設の老朽化が進行している状況。

問題はこれからどういう整備で順位はどうするか、財源をどう確保していくかが一番大きなポイントになる。財源があれば対応は可能であるが状況は厳しい。

補助制度や交付税措置等を活用したい。知恵を出しながらやっているのが現状である。



細田留美子 議員

質 平生町障がい者福祉計画について

答 課題に取り組んでいく



キラリンピック

質

障がいのあるなしにかかわらず、すべての町民が安心して暮らせるよう平生町障がい者福祉計画が立てられて実施されている。

町内でも対象者の増加傾向があるなど変化が踏まえて、前回計画の成果と今回の課題を質問する。

答 町長
また障がい者の自主的な活動のサポート体制と虐待防止法の取り組みはどうなのか。

総括と課題として、相談内容の多様化等に対応するため、1市4

町で相談支援事業を充実させたい。

成果に結びつく就労支援が課題である。

地域生活の移行支援についても反省の上で取り組む。

国政の変化に的確に対応していく。

答 健康福祉課長

活動のサポートは山口県障がい者スポーツ指導者協議会柳井地域連絡協議会とも連携して仲間づくりや健康づくりを進めたい。

虐待防止法等に関する国の法律が10月1日から施行で1市4町で相談窓口を共同設置する予定。

質 住民が主体の地域づくり

答 まちづくりに取り組むスタートにしたい

質

行政のさらなるスリム化を求めながら、サービスは充実してという要求がある。

それを実現するため、住民も公共の一端を担うことを求めた条例が各地で作られている。

平生町も人口減少や財政の縮小など厳しい状況にある。

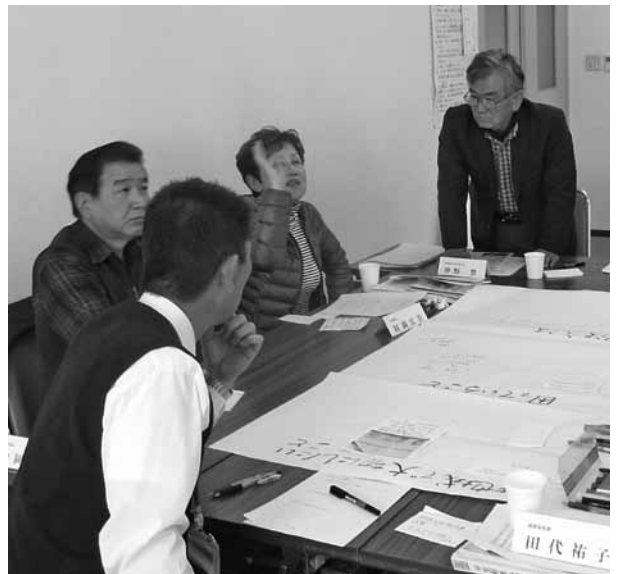
住民主体のまちづくりのため、平生町まちづくり条例が検討されているが、その条例にこめられた構想を聞く。

答 町長

早くから協働のまちづくりを提唱してきたが、具体的な条例という形にして地域の力が発揮できるまちづくりを目指している。

町民活動や公民館のあり方などその中に位置づけていく。

条例を作っていく過程を大切にしながら、意識改革をしていくなど、第四次総合計画に掲げるまちづくりに取り組むスタートにしたいと考えている。



まちづくり条例検討合同部会



中川裕之 議員

質 保育園統合民営化新園の基本姿勢について

答 指導すべきは指導していく

質

平成21年にスタートした平生・宇佐木保育園の統合民営化について、新園の保育方針、特に姿勢を問う。

近年子守りが主な目的から教育分野への取り組みも進んでいる。全国的にみれば、それぞれの園が独自の発想で特色ある運営をしている。

新園においても斬新な発想で近隣の町からも注目されるような運営をしてほしい。町も指導を徹底してほしい。



七夕の準備の様子

答

町長

その保育園としての運営方針・内容について独自の取り組みなり園の特色があるものをぜひ打ち出してほしい。同時に今までのいいところ、逆に改善をしたらほうがいいところもある。

当然、町としても指導していくべきところは、しっかりと指導する。

町では、毎月町と園の会議で情報交換を含め指導等を行っている。

質 文化・芸術分野への取り組みは

答 総合文化展等を利用してほしい

質

本町の文化・芸術面にかかわっておられる絵画・写真・生け花・その他造形作品・文化協会などの会員・非会員を含めすべての関係者のみなさんの完成作品の公開展示場の利用ができる箇所、また頻度はどのようになっているのか尋ねる。

答

教育長

11月に総合文化展を開催している。

その中では、文化協会の非会員さんの自由作品の出品コーナーも設けている。

毎年お知らせ版で募っており、すべての方が出展できる。

また、歴史民俗資料館の1部屋に展示室もある。各地区の公民館まつりの自由出展コーナーなどでも参加・出展をお待ちしている。



総合文化展の様子

TPP交渉参加阻止に向けた

町議会における決議について



平成24年5月2日、南すおう農業協同組合代表理事 河村壽雄氏より、議長へ「TPP交渉参加阻止に向けた町議会における決議」を依頼する文書が提出されました。

これは、国においてTPP交渉参加に向けた動きが加速し、今年の夏ごろには政府は参加の是非を最終判断することが予想されるなか、地方の声を国政に届けるため依頼されたものです。

産業文教常任委員会での審査の結果、9月定例会までに意見書を作成する方向で協議することとなりました。

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、
つれづれに思うこと
何でも結構です。

[字数] 400字以内

[提出先] 平生町役場議会事務局
議会広報担当者

[しめ切り] 9月30日(日)

紙面の都合で一部変更することもあります。掲載文には
薄謝を差しあげます。

人権擁護委員の推薦に同意



中丸和則さん

人権擁護委員は、人権尊重社会の実現を目指して町民一人ひとりが人権の意義や重要性に関する知識や人権意識を育む活動をします。委員の任期は三年で、法務大臣から委嘱されます。今回任期満了となられた中尾一真氏の後任として中丸和則氏(佐賀)を推薦することに全会一致で同意致しました。これからの活躍を期待致します。

議会の動き

(H24・3/7) H24・6/13

| | | |
|-------|--------------------------|---------------|
| 24年 | 3月27日 | 議会広報広聴調査特別委員会 |
| 3月26日 | 平成24年第1回熊南総合事務組合議会 | |
| 3月19日 | 議会全員協議会 | |
| 3月7日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | |
| 3月7日 | 第1回定例会 | |
| 3月7日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | |
| 3月27日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | |
| 3月28日 | 平成24年第1回田布施・平生水道企業団議会定例会 | |
| 4月10日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | |
| 4月17日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | |
| 5月8日 | 町戦没者追悼式 | |
| 5月9日 | 郡定例議長・事務局長会議 | |
| 5月18日 | 柳井地区広域市町議会議長会定期総会 | |
| 5月23日 | 総務厚生常任委員会 | |
| 5月24日 | 産業文教常任委員会 | |
| 5月27日 | 土地開発公社理事会 | |
| 5月29日 | 第63回全国植樹祭 | |
| 5月30日 | 第37回町議会議長・副議長研修会 | |
| 6月1日 | 議会運営委員会 | |
| 6月5日 | 全員協議会 | |
| 6月8日 | 田布施・平生水道企業団議会全員協議会 | |

編集後記

笑えなくても笑おう
▼現在社会には、ストレスが原因とされる病が多い。季節の変わり目には環境や気温の変化で気分が落ち込みやすい季節でもある。
▼精神科の受診は6、7月、9、10月が最も多く、1月が少ないという統計がある。この温度変化に対応するために体にかかりのストレスがかかり、メンタル系の病が発症する原因になっている。
▼中国には昔から「一笑、一若、一怒、一老」という言葉があり、一回笑うと一若返り、一度怒ると一つ年をとるといふことだ。それくらい「笑い」の効能は大きい。
▼落語を聴いた直後のガン患者の免疫力を測定すると、みんなアップしたという研究報告もある。
▼「笑い」はストレスの解消になったり、人生を楽しく過ごせる。「人生の極意である」と思う。
▼朝一番笑顔であいさつされると、一日気分が良いものだ。

村中仁司